

## 令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年12月）会議録

日 時：令和3年12月9日（木）午後6時00分～午後8時00分

出 席：大橋 加藤 広瀬 浅見 長谷川 岩元 森 増田

事務局：石川 平井 俣本

欠 席：小笠原 小林

### 1 開会のあいさつ

大橋：昨日は寒い一日だったが今日は比較的暖かい。今年も最後の月になった。これまで企画した講座はコロナ禍ではあるが、全て実施することができた。できたことに感謝。

石川：資料確認。「西砂川での災害を考える」に参加した東団地自治会長が会報に載せてくれたので回覧する。

### 2 令和3年度地域活性化講座について

#### (1)「西砂川での災害を考える〈第5弾〉」～自治会として何を考えようか～ について

- ・日 程 11月27日（土） 18：00～20：10
- ・申込者等 9自治会、21名
- ・参加者等 8自治会、12名
- ・委員の参加協力者 5名

大橋：初めての試みだった。講師の矢野さんから、良い取り組みと言われた。最終的には達人テストをマスターして自治会に戻り地域の住民に防災テストをしてもらう流れの講座と自治連会長にお話した。担当者の防災意識を高める取り組みは良いと言って頂き、方向性として良かったと思った。参加者からは意欲的な声もあった。時間配分が難しく、防災達人テストは説明だけで終わった。最初の申し込みからすると、100パーセントではなかったなので、同じ内容で引き続き実施したい。

加藤：講座終了後、矢野さんから電話があった。実施時間を間違えていて、あと30分あると思っていたとのこと。テストもやるつもりでいた。希望者がいれば、補足講座を無償で実施しても良いと連絡があった。

広瀬：防災講座をずっと続けて実施している。今回の狙いは、防災担当者の意識を高めること。そこを最初から狙いにしたことも良かった。地域住民の防災意識が薄いことを問題とする担当者もいた。

浅見：内容は多岐にわたるお話だった。アンケートでは、満足している方が大半。そこから口コミで広がるのではと思う。他の企画との兼ね合いもあるが、あの内容だと2回に分けての実施も考えられる。

岩元：最初だけ参加。参加者の一言を聞いただけでも地域住民の意識とのギャップを感じているのが伝わってきた。現に東団地で役員をしていた時、ずっと自分自身悩んでいた。

大橋：要望があれば補足講座ができると矢野さんから言われているがどうするか。

石川：18,000円予算が残っているので今回の追加版を実施することは可能。

大橋：自治会100%の参加を目指している。一般に知らせることも大切だが、担当者が各自治会に戻った時に、達人テストをできるようにするという内容で検討するのが良い。2時間のプログラムでは難しいという意見がある。

石川：講座を完結するためにも矢野さんの意向を汲み、「補足講座に参加したい方がいたら学習館にお知らせ下さい」と手紙を出す。会長の住所は分かるので、18自治会の会長に同じ内容でお知らせをする。

広瀬：達人テストができなかったことは残念だが、本来の目的は果たせた。再度、今回と同じように担当者に集まって頂き、正式な2回目を考えるのが良い。テストをやらなかったことに拘らなくても良い。

大橋：達人テストをやってみたい方がいれば、矢野さんのご厚意で話す機会はあるとお伝えする分には良いと思う。全体の流れとしては、担当者が研修できるきちとした内容で組むのが良い。今回の講座では、各自治会が抱える課題、情報交換の部分の記録を取らなかった。担当者としての実態をお話して下さり有益な情報だったので、次回は記録する。住民の意識が低いという実態がある。どうするかは、担当者が達人テストをマスターして戻り、実施すれば、住民の意識が向上するかもしれないと思う。

石川：一般ではなく、自治会の代表者を対象に、来年も実施できれば良い。欠席者には、資料をお渡しした。

岩元：講座の翌日は給水訓練があったので、その為に不参加だった方はいなかったか。

石川：欠席の理由までは伺っていない。

加藤：中里自治会は昼から夜まで自治会の役員会があったので顧問が参加した。

石川：各自治会で年間計画があるので、バッティングしない日を選ぶように調整したい。

## (2)「にしすな夜間塾〈第6弾〉」について

- ・日程について
- ・講座の内容について
- ・講師について
- ・会場について

石川：年に2回実施する計画なので次を決めたいが、小笠原館長が本日欠席。

大橋：前は西砂会館で実施したので、西砂児童館に会場を戻すか。日程は小笠原委員との調整。メールで内容や日程調整をしたい。内容で何か案はあるか。

広瀬：飲食はどうなるか。

森：今回は夜間の実施か。

大橋：夜間実施の予定。小笠原委員から飲食含め情報を貰い詰めていきたい。

石川：魅力ある講座でないといけないと思う。この間、西砂小に立川ダイスの選手が講習を

したと聞いた。

大橋：子どもの読解力が落ちている。就学前までにどれだけ文字と触れ合うかは大きい問題。  
子どもに読んでもらうには親が読まないといけない。親の関わりが深い。

岩元：子どもの読み聞かせを長くしている知人がいる。その方はノーバディーズパーフェクトのファシリテーターの資格を持ち、子どもだけでなく親も育たないといけないと思っている方。

大橋：講座をお願いしたら引き受けて頂けるか。

岩元：確認する。

広瀬：読み聞かせだけならこの学習館で活動している団体もある。

大橋：読み聞かせを窓口に、読書に繋げていく。親が本好きになり子どもが本好きになる過程をどう作るか。

石川：先日「百万回生きたねこ」の講座を西砂学習館で実施した。

大橋：小笠原委員も情報をお持ちかもしれない。西砂図書館のTRCに聞いてみるのも良いかもしれない。2回目は読書関係で講座を考える。

### 3 協議、報告及び連絡事項

#### (1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

#### (2) 令和3年度第3回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会

- ・日程について
- ・議題について
- ・今後の進め方について
- ・その他お気付きのこと

石川：年度内にもう1回実施するというお話があった。今からだと3月の実施になるか。

大橋：3つ考えていることがある。1つ目は、3つのフィールドで案を出して頂いた。あれが、協働本部事業になるかわからないが、私達が考える地域の学びを支える案として出ている。これはこれで意義のあること。その中の1つ「学校」は、私達が入っていけない部分もあるので、一旦置いておく。「地域」「学習館」の2つのフィールドで実現できそうだなというのをピックアップし、グループに分かれて話し合いをしたら形になるように持っていけるのではと思う。2つ目について。学習館祭は学習館利用団体だけが発表をしているが、地域の方に知ってもらう為に地域学校コーディネーターとの取り組みや、学校で取り組んでいることの一部を掲示しても良いと思っている。将来的には学校で行っている発表会を西砂学習館で地域の方が見ることができれば良い。これが2つ目。3つ目が本題。前回の会議でもお話した。地域学校コーディネーター3校の代表

3名にこの地運協に参加してもらい、各学校の報告して頂き、情報交換をこの会議で出来たら学校と地運協の間が密接になるのではと思う。

増田：現状は地域の学校とやりましたと事実の為にしかっていない。地域学校コーディネーターにこの会議に参加してもらい情報を共有すると非常に良い。出られない場合には議事録をお渡しする。

加藤：賛成。地域学校コーディネーターとしての位置付けではなく、委員としてが良い。

大橋：地運協の会議に参加して頂けたら負担に感じずに、参加して頂けると思う。費用も地域学校コーディネーターの活動費で出るとのこと。

石川：1月の地運協からお声掛けをするか。

大橋：3月の会合で説明をしてからが良い。

広瀬：地域学校コーディネーターだけの会議はあるのか。

石川：連絡会が定期的にある。

### (3) 「西一元氣通信」第4号の発行について

・ 次回の発行は1月⇒発行日は1月20日くらいでも良いか？

・ スタイル：A3 二つ折り（4ページ）

・ 掲載記事

1面：

2面：

3面：

4面：

【参考】 運協資料より（若干アレンジ） 第4号 令和4年1月発行

紙面	内 容	納期	担当
1面	タイトル（2/8） 講座「にしすな夜間塾②」の紹介（5/8） 2面以降の目次（1/8）	12/15	事務局
2面	講座「地元を学ぼう」（実績）（1/3） 講座「西砂川での災害を考える」（実績）（1/3） 講座「認知症予防講座」（実績）（1/3）	12/15	事務局
3面	西 砂 地 区 の 地 域 情 報 [ ]	12/20	( )
4面	運 営 協 議 会 か ら の 情 報 [ ]	12/20	( )

大橋：講座として終了している夜間塾、地元を学ぼう、西砂川での災害、認知症予防講座は記事としてまとめることは可能。

岩元：3面について。七中がユニセフの募金活動を行っている。地域の方に知ってもらいたい学校関係の活動紹介を載せても良いかと思う。自治連が給水訓練をしたのでその情報もどうか。

大槁：通信は学習館の活動を広く知ってもらうことがメイン。地域、学校の行事を拾い上げて知らせるものではない。学校行事の一環を、西砂学習館を利用して発表する場合は良いかなと思う。

岩元：学習館の役割としてお知らせする意味もある。

大槁：学校公開の立川市民科の活動を知らせたいが、あの活動をここで再現するという形で知らせられないかと思う。

広瀬：実績とこれからの予定を半々で記事にすると最初に話していた。

大槁：予定については、実際に組み立てると難しい。

森：西砂地区の地域情報と言うと、学習館から発信することなので、楽しい行事も沢山あるので年間事業予定を活用しても良い。

石川：直近でみんなのクリスマスコンサートがある。地元の川野さんが出演。「殿ヶ谷分水開削300年記念講座」も写真を撮り報告として載せる。

広瀬：1つの記事をできるだけコンパクトにして、たくさん入れると良い。この段階で学社一体の方向性について書いても良い。

#### (4) 地域学習館運営協議会交流会について

- ・日 時 令和4年2月19日(土)午後1時
- ・会 場 市役所302会議室
- ・内容案 生涯学習推進審議会では海野生涯学習係長が講演をした  
「地域学校協働本部事業」について15分定度説明した後、  
複数のグループに分け、学社一体関係の議題について意見交換し発表  
⇒ 学校、地域学校コーディネーター、地運協委員、学習館職員、地域の方の繋がりで出来ることは、如何でしょうか？

大槁：地運協メンバーが、自分達が本当に何をすべきか、というあたりを理解できているのかという話が岩元委員からあった。先日、生涯学習係の海野係長に交流会の内容について相談をした。学社一体とあるが、その理念はどのような現状からでてきたのか。現状はどうなのか。それを推進していく為にどんなことをしていこうとしているのか等、逐一確認して進めないと、同じ土俵で取り組んでいけない。具体的な方向が見える話しを20分位海野係長にお願いし、それを受けて、学習館としてはどう頑張れば良いのかをグループに分かれて考えたい。

森：良いと思う。どこの学習館も今一つぴんときてないから進められていない。自分もまだ具体的な進め方、何が出来るかわからない部分が沢山ある。

大槁：学習館への期待を聞くことが出来れば、そのことについてグループで話しができる。

広瀬：海野係長にしっかり説明して頂き、質疑の時間も取る。そして、グループに分かれて話し合いをするのが良い。

加藤：地域といかに学習館が繋がっているかがポイント。他館の話しを聞くが、西砂が一番地域に繋がっている。地域学校コーディネーターも学校との繋がりも各学習館かなりバラバラ。このような観点で議論したら非常に良いと思う。

大槁：パネル展示については、壁面が使える。見るだけでも交流会の役目は果たせるので、そのような感じで考えている。

森：防災講座で記録がなかったとあったが、この交流会はどうするか。

大槁：各グループ記録には残るようにする。それを見て発表をすることになるかと思う。

#### (5) フリースペースについて (報告)

なし

#### (6) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：学習館の各部屋の定員は、部屋の定員で良いとなったが、推進委員会の講座では定員を部屋の1/2のままで実施している。12月1日付けのアイムの定員制限がまた部屋の定員の1/2に戻った。現在、来年7月以降の講座検討を始めている。講座の定員は部屋の定員の1/2で進めている。いつ広げて良いのかなと迷いながらやっている。

広瀬：ボランティア関係のサークルで活動をしている。最近参加したい人が増えてきている。特に女性が多い。ボランティアに興味を持つ方が増えたのだと思う。

浅見：「子ども地域懇談会」のお知らせ。オンラインで開催。オンラインの良いことは日本全国から講師の話しを聞くことができる。今回は京都のNPO法人理事長が講師。

長谷川：青少健では、「子ども110番」の見直しをしている。この事業は、緊急避難先として活動して頂いているもの。継続してくれる方には新しいステッカーを後日発送する。門に貼ってくれる方がいたらご連絡下さい。青少健では冬休みにパトロールをする。12月26日、27日に予定。むぎっこクラブについて。来年4月からは業務委託をして、毎日開催になる。その前に、コロナで開催ができなかったが、1月から3か月間木金で子ども達と一緒に過ごす。今その引き継ぎをしているところ。新しい青少健便りができたので、各自治会に配りに行く予定。

大槁：むぎっこクラブが業者委託になるとのことだが、今まで関わっている方はどうなるのか。

長谷川：手が足りないので、今までのサポーターは、木金はお手伝いに入るのではと思う。運営委員会はなくなるので私は引退かと思っている。地域の方と餅つきや流しそめんをやっていたが、その行事は残す予定となっている。

岩元：西砂文化会では、1月30日に予定していたうどん作り大会は中止が決まった。1月19日に西砂会館運営委員会と合同で繭玉飾りは行うが、会館の役員だけで行う。同日、賀詞交歓会がある。

長谷川：今回の賀詞交換会では飲食はしない。お弁当と飲み物はお持ち帰りして頂く。

岩元：保護司会では2月27日AIMで映画上映会を行う。

森：西砂パソコン倶楽部では講座を行う月と個別対応を交互に実施している。今月は個別対応の月。皆さんやりたいことが沢山あり、人によって質問も違うので、一生懸命こちらも勉強しなければと感じる。皆さん、自治会やサークルの役員でそこでパソコンを活用しようと頑張っている。来年パソコン講座がある。

増田：総務委員会で、災害時の用水確保としてポンプを設置して欲しいと陳情した。残念ながら、井戸全体を行ったらお金がかかるとなり、継続審議となった。来期に陳情しながら、ここで話しているように、市民の困りごとを実現していくためにどうするかを進めていこうとしている。

平井：11月から配属になり1か月が過ぎた。今やっていることは生涯学習の計画の確認、学社一体の勉強をしている。このような場所で意見や考えを持てるようになりたいと思っている。災害講座に参加できなかったが、地震が多いと感じている。募集のタイミングでは9自治会の申込で8自治会参加だったが、今募ると、違うのかと思う。

石川：今年も1年間お世話になりました。来年の西砂学習館まつりに向けて、参加意向を聞いているところ。発表会では新規でマンドリンのサークルが参加したいと連絡があった。コロナが収束すると、参加団体の枠が一杯になるかと思う。次の実行委員会でお聞きするが、学習館プレ祭のような形で、アトラクションを別日に実施して、当日の発表団体の枠を多くできるように考えている。

西砂学習館ではこれから、みんなのクリスマスコンサート、殿ヶ谷分水の講座等、地元に関わるイベントがまだまだある。委員の方は、別枠で入れるので、お時間があればお越しください。

#### 4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、1月13日（木）午後6時～8時

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・「西砂川での災害を考える〈第5弾〉」アンケート集計